

情報セキュリティ

取り組みの背景・考え方

インターネットの発展等により、機密情報の漏えい、コンピューターウイルス感染被害の増加等の深刻な社会問題が急増しており、これらの事件等による企業の損失も、直接的被害に加えて社会的信頼の喪失等、広範囲なものになりつつあります。

Daigasグループは社会基盤を担う事業者として、お客さま情報をはじめとする情報管理の重要性を認識し、2019年8月に全社委員会の一つとして「サイバーセキュリティ委員会」を発足しました。「サイバーセキュリティ委員会」は、当社グループの情報セキュリティをはじめとした技術に関する活動を統括する役員「Chief Digital & Information Officer (CDIO)」(代表取締役副社長執行役員)を委員長とし、関連組織長等を委員としています。「サイバーセキュリティ委員会」は年2回開催し、中長期的なセキュリティ戦略の立案、当社グループ横断のセキュリティリスクへの対策などの事項についての組織横断的な調整・推進、必要に応じて改善の指示を行い、そのうちの重要事項を経営会議に付議・報告しています。その配下の「情報セキュリティ部会」のもと、セキュリティ対策の強化に努めています。

情報セキュリティ対策の強化

「情報セキュリティ部会」のもと、Daigasグループの中核会社と大阪ガスの経営サポート組織に情報セキュリティ推進管理者、その他の組織と関係会社に情報セキュリティ推進責任者・推進担当者を設置し、当社グループ全体における情報セキュリティ推進体制を構築しています。

当社グループ向けの情報セキュリティガイドラインやテレワークガイドライン、クラウドサービス利用時に守るべき要件をまとめたガイドライン等を随時見直し、運用を継続しています。

また、グループ会社の情報セキュリティ調査・点検を実施し、各社の改善計画を策定、対策を継続的に実施し、当社グループ従業員への情報セキュリティ教育および各社・各組織IT担当者への教育を行うなど、一人ひとりの情報セキュリティに関する意識の向上とスキルアップに努めています。2025年度は、情報セキュリティに対する意識の向上と対応策を身に付けることを目的に、実際の事例を参考にした標的型メール攻撃の模擬的な訓練(対象者:約23,000人)を実施しました。

さらに、急速に発達するAIの利活用に伴うリスクへの対応として2026年4月からDX企画部内にAI関連のガバナンス・戦略等を担うAI推進チームを設置する等、AIガバナンスの強化に努めています。

上記以外に、脆弱性診断の実施、不正アクセスを検知、防御するためのしくみ等を導入しており、各種対策を随時見直し、情報セキュリティ対策の強化に努めています。

■ 主な情報セキュリティ対策(2025年度)

体制・システム構築	●情報セキュリティガイドライン等の整備・運用
	●AI関連のガバナンス・戦略等を担うAI推進チームを設置
	●AIエージェントを構築する独自基盤を設計
監査・チェック	●関係会社の情報セキュリティ自主点検を実施
従業員教育	●標的型メール訓練を実施(対象者:約23,000人)
	●情報セキュリティe-ラーニングの実施(対象者:約15,000人)
	●AI使用に関するe-ラーニングの実施(対象者:約8,000人)

■ 情報セキュリティ推進体制 (2026年4月)

